

すくすく

たけのこキッズ 第4号



川崎こどもクリニック

〒597-0102 貝塚市木積656-7

電話：0724-21-2033

http://www.kawasaki-kc.jp

平成16年8月7日発行

夏カゼが散見

ちょうど夏の盛りです。患者さん自体は多くはありませんが、高熱と軟便を主症状（咳や鼻汁は少ない）とする夏かぜが相変わらず見られています。体調の管理に注意してあげて下さい。

蜂やムカデに刺されたら

この夏の暑さのせいもあるのか蜂などに刺されて来院される方がおられます。刺された時はどうしたら良いのでしょうか。蜂はお尻の部分に毒袋を持っており、うっかりつまんでしまうとかえって毒を注入してしまう結果となります。指などではじきとばした上で、針が残っている場合は毛抜きなどで抜いて下さい。



針を抜いたあとは、刺された部分を水で洗います。蜂の毒は水溶性ですので、毒を洗い流すことと血管を収縮させて毒のめぐりを抑える2つの効果があります。その後は冷たいタオルなどで冷やして、虫さされの軟膏を塗ってください。腫れがひどいときや気分が悪くなる場合は医療機関を受診して下さい。なお、蜂の毒は、アンモニアでは中和できませんので尿をかけたりするのは無意味です。

ムカデの場合もハチ刺されに似た痛みと腫れを生じるので、処置もハチ刺されでの処置に準じて行なうと良いでしょう。ムカデ毒では刺された直後であればアンモニア水塗布も有効とされています。

ロゴマークの由来

すでに一部で好評(?)の当院のロゴマークですが、由来をお話しましょう。これは、私が「大阪南部の丘陵地帯にできるクリニックで、地域特産品にはたけのこやみかんがある。たけのこにはすくすく伸びるイメージもあり、小児科診療所のイメージとしても採用したい」というようにコンセプトをプロのデザイナーに伝えてできあがったものです。看板、診察券、玄関ドアなどあちこちで見られると思います。かわいがってやって下さい。



貝塚市休日急患診療所出務

今月は川崎の出務日があります。

8月15日(日) 午前10～12時、午後1～4時
なお、貝塚市医師会のホームページで出務医師がわかります。
<http://www7.ocn.ne.jp/~kaiduka/>

とびひの治療



俗にとびひと言われているものは伝染性膿痂疹(でんせんせいのうかしん)という病気です。原因は主に黄色ブドウ球菌という菌ですが、溶連菌が原因となっている場合もあります。左上の写真のように水疱を作ったり、右下の写真のようにかさぶたを作ったりします。抗生物質の効きにくい菌が原因の時には治りにくい場合があります。また、乳幼児ではあたかもやけどしたかのように皮膚がずるむけた状態(ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)になることもあります。菌の感染ですので、治療の基本としては菌を殺す薬(抗生物質など)の使用と菌が生育しにくい環境づくりということになります。しかしその治療にはいろいろな考え方があり、かかられた小児科あるいは皮膚科の医師により治療法が異なります。私の場合は実際の皮疹部分の処置を主体に考えて治療しています。具体的には、皮疹部分の消毒に加えて亜鉛華軟膏という皮膚のジクジクを取る薬を塗っていただいています。必要と判断した場合にはそこにワイドシリンやフロモックスという抗生物質の内服を併用します。シャワーは構いませんが、プールに入ったり風呂につかったりして皮膚がふやけるようなことは避けて下さい。また、ジクジクのひどい間はガーゼを当てることも必要ですが、汗で汚れたり蒸れたりしないようにこまめに替えることが早く良くなるコツです。



休診のお知らせ

院内掲示や裏面の予定表にもありますように、お盆休みとして8月13日(金)～14日(土)、大分で開催される日本外来小児科学会に参加するため21日(土)の診察を休診と致します。ご了承下さい。

ご希望の方に「すくすくたけのこキッズ」を電子メールの添付ファイルとして毎号送らせていただいています。メールで info@kawasaki-kc.jp までご連絡下さい。また、ホームページからもご覧になれます。